

第38回 新学術領域研究「配偶子発生制御」セミナー

生殖細胞による動物遺伝資源の保存を目指して：
鳥類とほ乳類の生殖細胞移植

■ 演者

中村 隼明 先生

基礎生物学研究所 生殖細胞研究部門 日本学術振興会特別研究員

■ 概要

生殖細胞は次世代へ遺伝情報を伝達することができる唯一の細胞系譜である。この特性のため、生殖細胞に操作を加えることにより、次世代の個体を操作することができる。演者は、生殖細胞の凍結保存・移植法を改良・開発し、多様な動物遺伝資源を保存することを目標としている。本セミナーでは、演者がこれまでに取り組んできた鳥類の始原生殖細胞およびほ乳類精子幹細胞の移植の原理や、移植の実験を通して明らかになってきた生殖細胞の性質について紹介させて戴く。さらに、演者らが開発した生殖細胞の移植技術を駆使した動物遺伝資源保存の取り組みについても紹介させて戴く。

● 日時: 2017年4月20日(木) 17:00～20:00

● 場所: 横浜市立大学(福浦キャンパス) 講義棟 D1 講義室

■ お問い合わせ先

横浜市立大学 医学研究科・組織学教室

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

電話: 045-787-2567

FAX: 045-787-2568

e-mail: soshiki@yokohama-cu.ac.jp

